

令和 7 年度事業計画・収支予算

—新潟県立加茂病院—

1. 病院の理念、基本方針

1, 理念

わたしたちは、医療・介護・福祉の連携をすすめ、人に寄り添い、地域の方々のいのちと健康を守ることに努め、皆が安心して暮らせる“まち”をつくれます

2, 基本方針と具体的な運営指針

(1) 予防医療の推進

- ①慢性疾患の重症化予防・健康管理の推進
- ②地域のヘルスリテラシーの向上
- ③積極的な介護予防、認知症・フレイルへの対策強化

(2) 地域包括ケアの充実

- ①患者さんの尊厳を守る医療の実践
- ②診療所・介護施設との連携強化
- ③「家に帰ろう』『地域で暮らす」をテーマとしたリハビリおよび在宅医療部門の強化

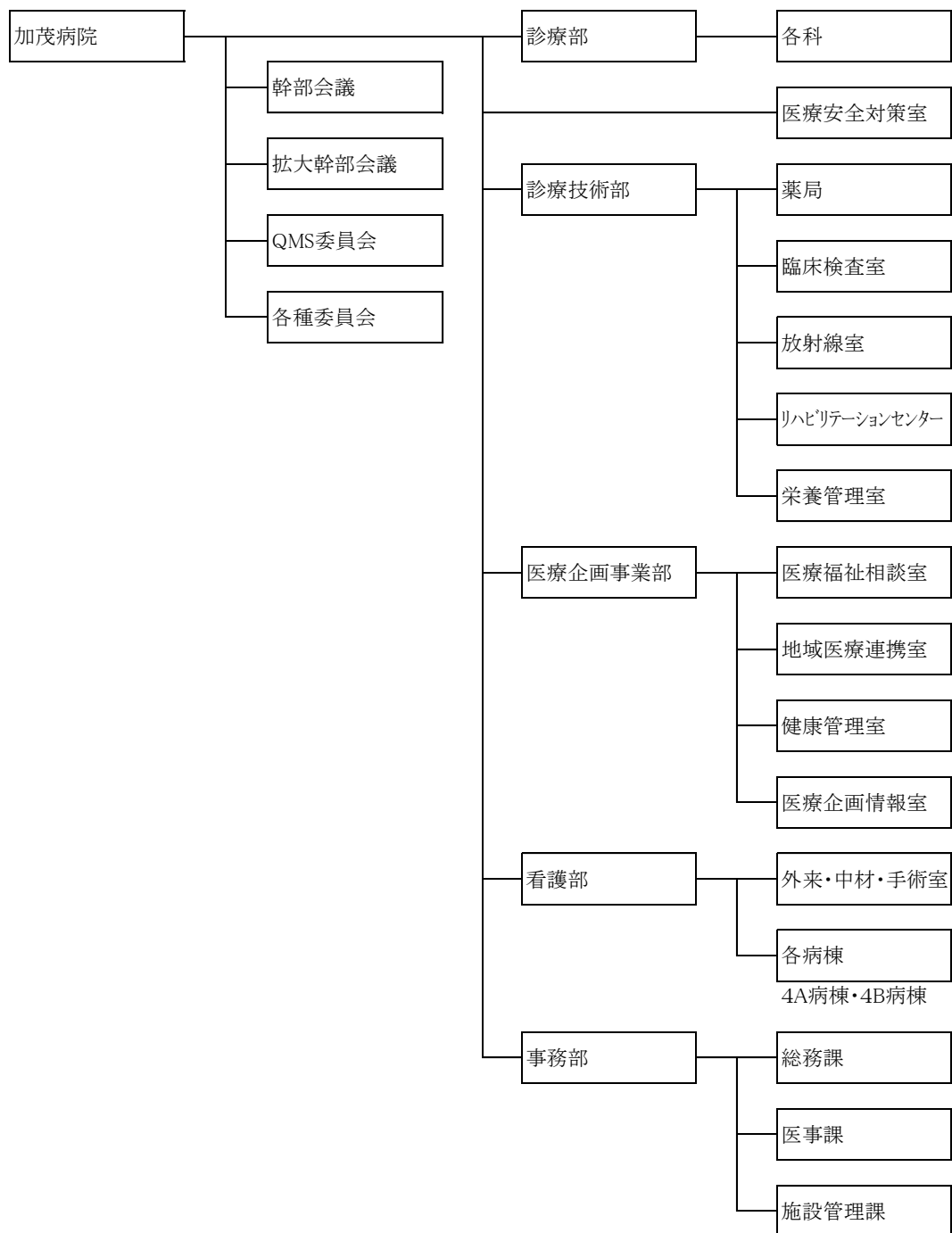
(3) 仕事に誇りとやりがいを感じられる職場作り

- ①共に学び何でも話せるチーム作り
- ②個人のキャリア形成・スキルアップへの支援
- ③学習者の積極的な受け入れと支援

2. 病院の基本情報

(1) 組織図

社会医療法人崇徳会 新潟県立加茂病院 組織図



(2) 病床数

令和7年4月1日現在

一般病床 (うち地域包括ケア病床)	緩和ケア	合計
50床 (10床)	30床	80床

(3) 診療科

診療科	常勤	非常勤	診療科	常勤	非常勤
内科	4	2	皮膚科		1
循環器科		1	心臓血管外科		1
腎内科		1	耳鼻咽喉科		1
代謝・内分泌		1	眼科		1
血液内科		1	婦人科	1	
神経内科		1	泌尿器科		2
膠原病内科		2	リハビリテーション科	1	
もの忘れ外来		1	緩和ケア内科	1	
精神科		1	放射線科	1	
整形外科		2			

3. 診療・経営の質向上

(1) 入院・外来患者の推計目標 (1日平均患者数)

	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 計画
外来	121.2	124.5	123.0
入院	43.8	48.1	65.0

(2) 医療と経営の質向上

社会医療法人崇徳会が、従来、各事業所で運用する ISO9001 と病院機能評価のノウハウと経験を活かし、より効率的、効果的な業務体制を構築することで、働きやすい職場環境づくりと、安全、かつ満足いただける医療サービスが提供できるよう業務の改善を続けることで、医療と経営の質向上を目指す。

(3) 診療機能の維持、充実

① 基本的な考え方

加茂市、田上町エリアにおける地域包括ケアシステムの中心的役割を果たすことを目標とし、入院では、軽症から中等症の急性期疾患や、県央基幹病院での超急性期を終えた、若しくは術後回復期の患者等を受入れ、在宅復帰につなげる総合的な医療を担う。外来では、従来の診療科に加え、認知症・精神科医療などを強化し、健診等も含め患者の抱える障害や疾病の重篤化予防・健康維持管理に努める。これにより、地域住民が住み慣れた地域における暮らしのなかで、幸福追求を支援できる病院を目指す。

② 地域医療の質向上

地域住民が必要な時に受診できる「かかりつけ病院」としての機能を有し、内科系疾患を中心とする中で、県央圏域で病院・診療所・介護・福祉との連携を積極的に図る。また、精神疾患、認知症診断・治療等においては、三条市にある医療法人恵愛会大島病院と緊密な連携を図る。

平日・日中の救急患者の積極的受入れと適切な紹介先への転院を支援し、多数の疾患にも対応する柔軟な医療提供を実践する。また、80 床という限られた病床数の中で「断らない医療」を提供する。

③ 診察機能

外来においては、18 診療科を提供することで診療機能の充実を図り、地域の要望に合わせた診療体制を運営する。

入院においては、県央医療圏では唯一となる緩和ケア病棟の継続的な運営を行うため、積極的な連携により対象患者の受入拡大を図る。

病床編成により空床となった3階(2フロア)については、当初予定の2年前倒しを行い、令和7年度の介護医療院開設(1フロア)を目指す。

④ リハビリテーションの充実

充実したリハビリ設備とリハビリスタッフの増員で、おうちへ帰ろうをテーマに、リハビリの充実で早期在宅復帰を支援する。今年度は従来の入院・外来リハビリに加え、介護分野でのリハビリサービスの拡充。訪問リハビリでは、自宅での生活環境に応じた機能回復を支援。通所リハビリでは、病院にて専門スタッフが個別プログラムの提供。利用者が安心して自立した生活を送れるよう、きめ細やかなサポートを提供し、地域に根差したリハビリケアを通じて、地域での健やかな生活を支援する。

⑤ 自治体との連携

加茂市、田上町と連携による広報誌等での地域住民向けの情報の発信、出前講座の開催、また、自ら加茂病院の多目的ホールを利用し市民大学を開催するなど、健康啓発活動や健康教室の実施を行い、豊かな日常を送ることで健康寿命を延伸し、地域のヘルスリテラシー向上を目指す。

4. 人材の確保・育成・教育

(1) 人材確保状況 令和7年4月1日時点

職種	常勤	非常勤	職種合計	常勤換算	備考
医師	8	36	44	12.3	
薬剤師	3	1	4	3.4	
看護師	56	10	66	61.1	
准看護師	0	3	3	2.2	
看護補助	14	3	17	16.4	
理学療法士	8	0	8	8	
作業療法士	3	0	3	3	
言語聴覚士	1	0	1	1	
栄養士	2	0	2	2	管理栄養士
調理師	10	1	11	10.8	
放射線技師	3	0	3	3	
臨床検査技師	4	1	5	4.2	
その他医療従事者	0	2	2	0.7	視能訓練士・臨床心理士
事務職員	8	9	17	13.5	事務、総務
その他	3	0	3	3	MSW
合 計	123	66	189	144.6	

（２）人材課確保

① 関連教育機関との連携

長岡崇徳大学看護科、長岡崇徳福祉専門学校との連携、奨学金制度、実習受け入れ時の丁寧な指導により、継続的な採用体制と、崇徳厚生事業団との人事交流により効率的な人事配置で人財としての質の確保、充実に努めている。

医師については、社会医療法人崇徳会の運営する田宮病院、長岡西病院が多くに関連病院となっており、病院間の協力、連携により医師の確保、研修の充実による質の向上を図る。

② メディア利用におけるイメージの向上

テレビコマーシャルを主とした、社会医療法人崇徳会 新潟県立加茂病院の認知度向上、企業イメージの向上を図る。

③ 就職説明会の継続的な実施

年間通じて既卒者向けの病院見学を随時受入れ、環境を整えている。併せて、小中学生一日看護師体験での啓発活動や、専門学校、大学生を対象に毎年各看護学校へ訪問し就職説明会を開催している。医療・介護分野に興味のある方へ業務内容や職場の雰囲気、キャリアパスについて詳しくご説明し、参加者の疑問や不安を解消している（希望者には病院見学を実施）。その他、新聞折り込みチラシの配布、SNS による発信で情報提供し、病院運営に必要な人材確保を目指している。

（３）人材の育成・教育

① 仕事に誇りとやりがいを感じられる職場作り

- ・共に学び何でも話せるチーム作り
- ・個人のキャリア形成・スキルアップへの支援
- ・学習者の積極的な受け入れと支援

以上を病院の基本方針に掲げ、当法人における人事制度では、「プロフェッショナルとして職員が成長できる職場」という人事理念を基に能力・成績・情意をバランスよく取り入れた人事考課制度を運用し、これに基づくフィードバック、処遇への結付けにより成長を促す。

現在、緩和ケア認定看護師が３名、認定看護管理者が１名在籍。さらに今年度は、感染管理認定看護師１名の育成にも取り組み、それぞれの専門的な知識と技術を備えたスタッフを増やしながら、今後も教育環境を充実させ、質の高い看護ケアを提供できる体制を整えていく方針である。

5. 経営改善の取り組み

(1) 基本的な考え方

患者数、診療単価の目標設定および目標達成のための取り組みとして、社会医療法人崇徳会の各病院の値を基に目標値を設定し、SWOT分析、BSCの活用により目標達成を図る。

(2) 収益の確保

① 入院患者

断らない医療、迅速な受け入れを目標とし、病床稼働率の向上、患者1人当たり単価の向上を目指すなかで、専門診療科を活性化することで高齢者医療の充実を図り、利用する患者を増加させる。

② 外来患者

新たな健診項目の追加による、予防医療活動の拡大を目指すとともに、企業や自治体との連携を強化し、職場健診や地域住民向けの検診プログラムを拡充することで、疾病予防の啓発と長期的な健康維持を支援する。

③ 緩和ケア医療

県央圏域の病院を主とした緩和ケア病棟の受け入れ拡大、稼働率の向上を目指すなかで、患者が安心して療養できる環境づくりと専門スタッフの配置を充実させ緩和ケアの質を向上させる。

④ 介護医療院の早期開設

令和9年度開設予定であった介護医療院を当初計画より2年前倒しし、未使用の3階フロアを有効利用し収益拡大を目指すとともに、医療と介護の両面から包括的な支援を提供できる体制を整え地域住民へ貢献する。

(3) 支出削減

① 業務改善

業務の見直し、改善による適正で効率的な人員配置で人件費削減を図ると共に、業務の標準化とデジタル化を推進し、業務負担の軽減と医療の向上を目指す。

② 契約関係

令和 7 年度は、昨年に引き続き人件費高騰分の費用上昇の対応に合わせ、契約内容の見直しによる経費削減を加速しつつ、次年度以降の経費削減につなげる。加えて、業務の一部を内製化する可能性も検討し、長期的なコスト削減を図る。

③ 物品

同等品等の比較検討による単価削減、使用頻度等による購入単位の見直し、適正な在庫管理を徹底することで無駄な支出を削減する。また、納入業者の精査を強化し、複数業者との比較導入することで、よりコストパフォーマンスの高い調達を実現する。

④ 光熱水費

光熱水費の削減に向け、省エネルギーに対する啓発活動を強化すると共に、時間帯別の未使用空間を再確認し、節電等による経費削減を図る。加えて、従業員の意識改革を促し、日常における無駄な電力・水使用の削減を図る。

6. 目標管理

(1) 収入

R7 年度計画	1 日あたり 患者数	延患者数 (人)	単価 (円)	収益 (千円)
外来	123	30,952	12,125	375,306
入院	65	23,717	29,315	695,248
(再掲) 一般	31	11,389	30,083	342,609
(再掲) 地域包括ケア	7	2,555	35,682	91,168
(再掲) 緩和ケア	10	3,650	45,634	166,564
(再掲) 介護医療院	17	6,123	15,500	94,907
健診その他				54,796
合 計				1,125,350

(2) 支出

R7 年度計画	支出額 (千円)	医業収益比 (%)
人件費	929,337	82.6%
材料費	254,067	22.6%
委託費	292,200	23.7%
その他経費	287,867	25.9%

7. 施設管理

(1) 病院施設・設備等、主な管理施設

①所在地

新潟県加茂市青海町1丁目9番1号

②施設内容

ア 土地 14,993.30 m²

イ 建物

構造	階層	竣工年度	経過年数	延べ床面積 (m ²)
R C 一部 S	6	令和元	4	13,951.83

※R C：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造

※経過年数は令和5年度末時点

ウ 駐車場 193台

8. 主な業務委託

主な委託業務	委託内容	委託業者名
医療事務	医療事務の委託	(株) エム・エス・シー
清掃業務	院内清掃の委託	(株) 三愛ビルサービス
警備業務委託	夜間・休日の警備及び 宿日直業務の委託	(株) 三愛ビスサービス
洗濯業務	看護衣、診察衣等の洗濯業務の委託	(株) 渡辺リネン
医療ガス設備保守点検	医療ガス設備保守点検の委託	シマキュウ (株)
昇降機設備保守点検	エレベーター保守点検の委託	東芝エレベーター (株)
消防設備保守点検	消防設備保守点検の委託	(株) ノーミ
感染性廃棄物運搬・処理	感染性廃棄物運搬・処理の委託	(株) 新潟県厚生事業共同公社
物品管理・調達等業務	診療材料等の調達・管理等の委託	エア・ウォーター東日本 (株)

R7年度 加茂病院収支計画

単位：千円

病院事業収益	1,818,144
医業収益	1,125,350
入院収益	695,248
外来収益	375,306
検診・その他	54,796
医業外収益	692,794
政策医療交付金等	685,139
受取利息配当金	1
補助金収益	0
患者外給食収益	0
その他医業外収益	7,655
有価証券売却益	0
雑収入	0
病院事業費用	1,818,144
医業費用	1,763,471
給与費	929,337
給料	929,337
材料費	254,067
医薬品費	145,062
診療材料費	88,160
医療消耗器具備品費	633
給食材料費	20,212
委託費	292,200
設備関係費	53,991
減価償却費	7,200
一括償却資産償却費	433
リース料	7,200
地代家賃	11,529
修繕費	11,872
固定資産税等	0
器械保守料	14,949
器械設備保険料	0
車輛関係費	808
経費	231,370
福利厚生費	7,115
旅費交通費	1,860
職員被服費	3,893
通信費	4,298
広告宣伝費	22,388
消耗品費	18,973

消耗器具備品費	1,843
レク委員会費	41
水道光熱費	105,753
保険料	9
交際費	198
諸会費	612
租税公課	324
医業貸倒損失	0
貸倒引当金繰入	0
雑費	34,940
その他	29,123
研究研修費	2,506
研究費	1,282
研修費	1,224
医業外費用	54,673
支払利息	0
寄付金	0
雑損失	0
その他医業外費用	54,673
経常利益	0
臨時収益	0
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入	0
過年度損益修正益	0
補助金収益	0
国補金等特別勘定戻入	0
臨時費用	0
固定資産売却損	0
固定資産除去損	0
過年度損益修正損	0
固定資産圧縮損	0
特別償却費	0
国補金等特別勘定繰入	0
当期損益	0